

## 年頭所感



PC建築部会長

宍戸 宏

株式会社建研 代表取締役社長

2018年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

会員の皆様方には平素より、プレハブ建築協会並びにPC建築部会の活動に、多大なるご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

我が国の経済界においては、大胆な金融政策による資金供給量の増加により、地価の上昇が大都市圏から地方にも波及し、全国平均で前年比わずかながらプラスになりました。しかしながら、地価の上昇は駅から徒歩圏内で多く見られ、駅から離れた不便なところでは地価は下がっている状況で、二極化が進んでいます。このような環境の中で、経済は回復基調ではあるもののやや、足踏みが見られる状況にあります。

建設業界におきましては、公共投資が減少している中、労務費・建設資材価格は高止まり状態が続いています。しかしながら、日本経済の穏やかな回復を背景に建設業界の収益は大手ゼネコンを中心に堅調に推移しています。現在首都圏においては、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた、インフラ整備を含めた建設需要が増加してきています。合わせて再開発事業も、数多く進められてきています。大都市圏においては、地価の上昇等もあり建設業界には追い風となっていますが、地方圏におきましては、人口減とともに建設需要は減少傾向にあります。地方を含めた建設業界全体としては、今後も厳しい環境が続くものと思われれます。今後、大型インフラプロジェクトであるリニア中央新幹線、北陸新幹線の延伸等の波及効果が、建設需要の増加につながる事が期待されています。

また一方では、技能労働者を含めた建設業就業者数の減少は深刻化し、生産性向上による省人化と将来の労働力の育成・確保が建設業界に求められています。

このような背景のもとに、昨今のPC建築の適用領域は、中高層集合住宅だけでなく一般建築物へと拡大されてきております。また、日本建築学会では、「建築工事標準仕様書・同解説JASS 10プレキャスト鉄筋コンクリート工事」の改定が行われ、PC工法による建築物の性能の向上や品質の確保がより一層求められる情勢になっています。プレハブ建築協会としても、PC部材の性能と品質を更に向上させるために、昨年1月に「プレキャスト鉄筋コンクリート部材製造技術指針」を発刊いたしました。指針の発刊に続いて、工場における製造管理技術者の資質の向上と社会的地位の確立を図ることをねらいとし、「PC部材製造管理技術者資格認定制度」を制定しました。

この制度の発足により、昨年9月18日に第一回のPC部材製造管理技術者資格認定取得のための講習会と認定試験を実施いたしました。東京会場と大阪会場を合わせて300名の受講・受験者

があり117名が合格され、既に登録を済ませております。今後ともPC建築部会においては、「PC部材品質認定事業」・「PC構造審査事業」・「PC工法施工管理技術者資格認定事業」の3つの事業も合わせてPC工法による建築物の品質確保に努めて参ります。

今年も各方面の方々に、在来工法に比べたPC工法の優位性・多様性等をご説明していきます。特に、工場で製造されたプレキャスト部材の品質の高さをPRし、PC建築のさらなる発展・普及を目指して活動して参ります。今後とも、皆様方の格別の御指導とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

最後になりましたが、会員各社様の社業の益々の発展と、今年一年の皆様方のご健康、ご多幸を心より願いしまして、私の新年のご挨拶とさせていただきます。